桐生市 建築確認申請等手数料

(令和7年4月1日改正)

種別	申請区分		床面積の合計 (㎡)		手数料 (円)	
			㎡ <	≤㎡		
建築物	確認申請	一般審査	～ 30		10,000	
			30 ～ 100		16,000	
			100 ～ 200		26,000	
			200 ～ 500		40,000	
			500 ～ 1,000		69,000	
			1,000 ～ 2,000		87,000	
			2,000 ～ 10,000		168,000	
			10,000 ～ 50,000		282,000	
			50,000 ～		559,000	
		省エネ仕様 基準審査 (加算分) [建築物単位で算定]	戸建	～ <200		11,000
				200 ≤ ～		13,000
	共同住宅等	～ <300		22,000		
		300 ≤ ～ <2,000		34,000		
		2,000 ≤ ～ <5,000		54,000		
		5,000 ≤ ～		71,000		
	中間検査	—		～ 30		14,000
				30 ～ 100		15,000
				100 ～ 200		20,000
				200 ～ 500		25,000
				500 ～ 1,000		39,000
				1,000 ～ 2,000		51,000
				2,000 ～ 10,000		113,000
				10,000 ～ 50,000		176,000
	50,000 ～		362,000			
	完了検査	一般検査 (中間検査無しの場合)	～ 30		15,000	
			30 ～ 100		19,000	
			100 ～ 200		26,000	
			200 ～ 500		40,000	
			500 ～ 1,000		69,000	
			1,000 ～ 2,000		86,000	
			2,000 ～ 10,000		149,000	
			10,000 ～ 50,000		237,000	
50,000 ～		461,000				
一般検査 (中間検査有りの場合)		～ 30		14,000		
		30 ～ 100		18,000		
		100 ～ 200		25,000		
		200 ～ 500		39,000		
		500 ～ 1,000		68,000		
		1,000 ～ 2,000		83,000		
		2,000 ～ 10,000		139,000		
		10,000 ～ 50,000		227,000		
50,000 ～		451,000				
省エネ基準適合検査 (加算分) [敷地単位で要確認特定建築行為※に係る部分の 床面積の合計により算定] ※省エネ義務化対象の建築行為 (審査・検査対象外 を除く) をいう		～ 30		3,000		
		30 ～ 100		4,000		
	100 ～ 200		5,000			
	200 ～ 500		8,000			
	500 ～ 1,000		13,000			
	1,000 ～ 2,000		17,000			
	2,000 ～ 10,000		29,000			
	10,000 ～ 50,000		47,000			
50,000 ～		92,000				

- 確認を受けた建築物の計画を変更して建築する場合 (移転する場合を除く。)
 1. 変更に係る部分の床面積の2分の1
 2. 床面積の増加する部分の床面積
- 建築物の移転、大規模の修繕、大規模の模様替、又は用途変更をする場合
 - 移転、修繕、模様替、又は用途変更に係る部分の床面積の2分の1
- 確認を受けた建築物の計画を変更して建築物を移転、大規模の修繕、大規模の模様替又は用途変更する場合
 - 計画変更に係る部分の床面積の2分の1

【手数料の算定例】

木造2階戸建住宅180㎡、S造平屋車庫30㎡の2棟210㎡を新築する場合

以下の（○㎡）は、手数料算定対象の床面積

1. 確認申請手数料

①住宅が省エネ仕様基準による申請の場合

一般審査分（210㎡）40,000円＋省エネ仕様基準審査分（180㎡）11,000円＝51,000円

②住宅が省エネ適判や住宅性能評価等を受けた場合（又は確認審査の末日の3日前までに受ける場合）

一般審査分（210㎡）40,000円のみ（別途、省エネ適判又は住宅性能評価等費用は必要）

2. 完了検査申請手数料（中間検査有りの場合）

一般検査分（210㎡）39,000円＋省エネ基準適合検査分（180㎡）5,000円＝44,000円

↑

本事例の車庫新築は要確認特定建築行為ではないため手数料算定対象の床面積に含まない

桐生市 建築設備・工作物申請手数料

(令和7年4月1日改正)

種別	申請区分	申請対象	手数料 (円)	
建築 設備 ・ 工作 物	確認申請	建築設備 ※1	小貨物専用昇降機	9,000
			上記以外	14,000
		工作物		13,000
	計画変更	建築設備 ※1	小貨物専用昇降機	8,000
			上記以外	10,000
		工作物		8,000
	完了検査	建築設備 ※1	小貨物専用昇降機	14,000
			上記以外	18,000
		工作物		13,000

※1 昇降機を併願申請する場合は、建築物に係る手数料の額に昇降機に係る手数料を加えた額
(群馬県建築基準法例規・事例集 2-g-002 参照)

桐生市 省エネ基準適合性判定手数料

建築物単位で算定

(令和7年4月1日改正)

用途		評価方法	床面積の合計		手数料 (円)
			㎡≦	<㎡	
住宅	戸建	標準計算法等※1	～ 200		33,000
			200 ～		37,000
		仕様・計算併用法	～ 200		23,000
			200 ～		26,000
		仕様基準	～ 200		18,000
			200 ～		19,000
	共同等 ※2	標準計算法等※1	～ 300		65,000
			300 ～ 2,000		108,000
			2,000 ～ 5,000		183,000
			5,000 ～		262,000
		仕様・計算併用法	～ 300		47,000
			300 ～ 2,000		79,000
			2,000 ～ 5,000		138,000
			5,000 ～		201,000
仕様基準	～ 300		31,000		
	300 ～ 2,000		54,000		
	2,000 ～ 5,000		97,000		
	5,000 ～		146,000		
非住宅	工場等 以外	標準入力法等※3	～ 300		212,000
			300 ～ 1,000		265,000
			1,000 ～ 2,000		341,000
			2,000 ～ 5,000		487,000
			5,000 ～ 10,000		599,000
			10,000 ～ 25,000		708,000
			25,000 ～		808,000
		モデル建物法	～ 300		82,000
			300 ～ 1,000		104,000
			1,000 ～ 2,000		136,000
			2,000 ～ 5,000		220,000
			5,000 ～ 10,000		286,000
	10,000 ～ 25,000			345,000	
	25,000 ～			403,000	
	工場等 ※4	標準入力法等※3	～ 300		21,000
			300 ～ 1,000		30,000
			1,000 ～ 2,000		40,000
			2,000 ～ 5,000		95,000
			5,000 ～ 10,000		140,000
			10,000 ～ 25,000		173,000
		25,000 ～		214,000	
		モデル建物法	～ 300		17,000
			300 ～ 1,000		26,000
			1,000 ～ 2,000		35,000
2,000 ～ 5,000				89,000	
5,000 ～ 10,000				133,000	
10,000 ～ 25,000			166,000		
25,000 ～		205,000			

住宅部分と非住宅部分を有する複合建築物の場合は、それぞれの部分の床面積の合計による手数料を合算し徴収する。

計画変更や軽微な変更証明申請にかかる手数料は、変更後の床面積による手数料の半額とする。

※1 標準計算法のほか、大臣が認める方法を適用する場合や、外皮は気候風土適用住宅を適用し、一次エネルギー消費量は標準計算法を適用する場合を含む

※2 共用部を評価しない場合は、共用部の床面積を除いて算定する

※3 標準入力法のほか、大臣が認める方法を適用する場合を含む

※4 建築物の全部を、工場等（工場、危険物の貯蔵若しくは処理場、水産物の増殖場若しくは養殖場、倉庫、卸売市場、火葬場又はと畜場、汚物処理場、ごみ焼却場その他の処理施設）の用途に供する場合

桐生市 省エネ性能向上計画認定手数料

【適合証無の手数料表】建築物単位で算定

(令和7年4月1日改正)

用途	評価方法	床面積の合計 ㎡ ≤ <㎡ () の戸は、現行の場合	手数料 (円)
戸建住宅	標準計算法等※1	～ 200	33,000
		200 ～	37,000
	仕様・計算併用法	～ 200	23,000
		200 ～	26,000
	誘導仕様基準	～ 200	18,000
		200 ～	19,000
共同住宅等	標準計算法等※1	(1戸) ～ (4戸) 300	65,000
		(5戸) 300 ～ (15戸) 2,000	108,000
		(16戸) 2,000 ～ (45戸) 5,000	183,000
		(46戸) 5,000 ～	262,000
	仕様・計算併用法	(1戸) ～ (4戸) 300	47,000
		(5戸) 300 ～ (15戸) 2,000	79,000
		(16戸) 2,000 ～ (45戸) 5,000	138,000
		(46戸) 5,000 ～	201,000
	誘導仕様基準	(1戸) ～ (4戸) 300	31,000
		(5戸) 300 ～ (15戸) 2,000	54,000
		(16戸) 2,000 ～ (45戸) 5,000	97,000
		(46戸) 5,000 ～	146,000
非住宅	標準入力法等※2	～ 300	212,000
		300 ～ 1,000	265,000
		1,000 ～ 2,000	341,000
		2,000 ～ 5,000	487,000
		5,000 ～ 10,000	599,000
		10,000 ～ 25,000	708,000
		25,000 ～	808,000
	モデル建物法	～ 300	82,000
		300 ～ 1,000	104,000
		1,000 ～ 2,000	136,000
		2,000 ～ 5,000	220,000
		5,000 ～ 10,000	286,000
		10,000 ～ 25,000	345,000
		25,000 ～	403,000

住宅部分と非住宅部分を有する複合建築物の場合は、それぞれの部分の床面積の合計による手数料を合算し徴収する。

計画変更や軽微な変更証明申請にかかる手数料は、変更後の床面積による手数料の半額とする。

※1 標準計算法のほか、大臣が認める方法を適用する場合を含む

※2 標準入力法のほか、大臣が認める方法を適用する場合を含む